

水産物来週の見通し（8/2～8/6）

【鮮魚の概要】

高級魚ではひらめ、えびが増加傾向になります。
近海は、魚が少ない時期になります。
大口では朝いか、いわしが多くなります。

【主要品目】

鮮マグロ ⇒ 養殖本マグロ主体の入荷ですが、輸入メバチマグロ、国産メバチマグロ少々入荷予定あり。
宮城県塩釜産、巻網本マグロ入荷予定あり。

ホタテ ⇒ オホーツクのみ水揚げ。水揚げ数量は多いが、冷凍の柱の引き合いが強いため、浜値は更に高めの傾向。

ホッキ ⇒ 苫小牧中心に胆振、噴火湾、日本海が解禁。水揚げは安定しているが価格は高め。

ウニ ⇒ 利尻礼文から日本海解禁中。価格は横ばい。

貝ツブ ⇒ 厚岸が終了、襟裳水揚げ少なめ、価格は高め。

キンキ ⇒ オホーツク中心の水揚げ。中国輸出の引き合いで価格は高め。

ヒラメ ⇒ 日本海方面の水揚げが減少傾向。価格は上げ傾向。

毛ガニ ⇒ 苫小牧が終了したため、入荷減少。価格は高値安定。

カレイ ⇒ まかれいは枝幸底引が中心、数量、価格ともに安値安定。
黒かれいはオホーツク中心で、水揚げ少なめ。価格は安値安定。

まいか ⇒ 青森、北海道中心の入荷。価格は横ばい。

青鱈 ⇒ 水揚げ少なめ。

アサリ ⇒ 禁漁期間になるので、価格は上げ傾向。

エビ ⇒ ぼたんえびは、主に礼文島からの入荷。増毛の水揚げが増加傾向。
羽幌の南蛮えび漁がメインのため、ボタンエビの水揚げは少なめ。
南蛮えびは、羽幌、増毛、余市より入荷。水揚げ減少で金沢が禁漁のため浜高傾向。